



国労せんだい

こくろうせんだい
速報版

No.2600

2011年3月5日

発責 橋本 昭二

編責 武田 昌仙

仙台で国労をアピール

国労東北 総決起集会開催



デモ行進で氣勢を上げる参加者

3月4日、仙台市内において国労東北総決起集会が開催され、460名の仲間が結集した。

仙台市民会館での集会は、三部構成で行われ、東北協議会を代表し瀬下議長が挨拶に立ち、①春闘情勢②安全問題と職場労働条件の改善③JR不採用問題④参議院選挙闘争を勝利し平和と民主主義を守り生活向上を目指す勢力の前進と、更には春闘勝利と諸課題の前進、そして闘いを通じて新しい仲間を国労に



瀬下議長の音頭で団結頑張ろう！

て新しい仲間を国労に

国労会館主催

東北労働講座

佐藤正明氏が講演

集会の第三部として、
国労会館（財）主催によ



講演する佐藤弁護士

る東北労働講座が行われ、弁護士佐藤正明氏より、「労働契約の偽装と労働者の権利」と題した講演を受けた。佐藤氏は現在の労働者の置かれている現状を紹介し、「非正規労働者と正規労働者への転換は困難であり、契約形態の違いではなく『身分』の観がある。士農工商のように超えられない

身分制度だとすれば、その仕組みを根本から変えるしかない」と労働者の奮起を促した。

また偽装請負や派遣法をめぐる訴訟の状況を、旧松下PDP事件と会澤高圧コンクリートの二つの事例を紹介し分かりやすく説明された。

最後に「現存する有期雇用契約の見直しに力を入れ改善を図らなくては労働者の奴隷のような状況は続く」と我々の目指すべき道を示唆した。

雪降る中チラシ配布

迎え入れる決意を固め合おうと訴えた。
また来賓として、社民党宮城県連合田山副幹事長、日本共産党宮城県委員会五島書記長、宮城県平和労働組会議原事務局局長からそれぞれ激励と連帯の挨拶を受け、東北交運労働協からは連帯のメッセージを頂いた。

第二部では、国労東北本部高野委員長から挨拶と情勢報告があり、①10春闘情勢②安全問題③組織強化・拡大④JR不採用問題の早期解決について述べた。
集会は、盛岡地本小林副委員長、秋田地本高橋執行委員、仙台地本中嶋副委員長及び東北貨物協議会高橋副議長からそれぞれ力強い決意表明を受け、第三部に入った。

東北労働講座（別掲）を挟んで東北協議会斎藤副議長の閉会の挨拶後、瀬下議長の団結頑張ろうで締められた。
参加者は3ブロックに分かれ仙台市内をデモ行進。
賃上げを始めとした労働条件の改善や安全問題などの国労要求をシュプレヒコールで市民にアピールし、氣勢を上げた。



支社前でのチラシ配布

国労東北総決起集会の前段には、雪がちらつく仙台支社前と仙台駅東口において早朝チラシ配布行動が取り組まれた。チラシに書かれた、「JR不採用問題の全面解決に向け、政府は早急にJRに雇用要請を行え」「安全無視、営利優先の合理化・外注化反対！」「企業の社会的責任を果たすため、内部留保を吐き出せ！」等の要求が、ハンドマイクに乗って街頭に響き渡った。